

建物概要				地盤調査				コンクリート				鉄骨				鉄筋				溶接			
1. 基礎 基礎形式: 独立基礎 基礎寸法: 123.84 x 1.0 基礎埋入深さ: 3.35 (OK) 基礎埋入深さ: 3.25 (NG)				2. 地盤調査 地盤調査結果: 10.0 地盤調査結果: 10.0				3. コンクリートの種類 コンクリートの種類: 普通コンクリート コンクリートの種類: 高強度コンクリート				4. 鉄骨 鉄骨の種類: 普通鉄骨 鉄骨の種類: 高強度鉄骨				5. 鉄筋 鉄筋の種類: 普通鉄筋 鉄筋の種類: 高強度鉄筋				6. 溶接 溶接の種類: 普通溶接 溶接の種類: 高強度溶接			
7. 重要品質問題に関する注意事項 重要品質問題に関する注意事項: 1. 基礎の埋入深さは、地盤調査の結果に基づき決定する。2. 鉄骨の埋入深さは、設計図面に基づき決定する。3. 鉄筋の埋入深さは、設計図面に基づき決定する。4. 溶接の埋入深さは、設計図面に基づき決定する。				8. 鉄筋 鉄筋の種類: 普通鉄筋 鉄筋の種類: 高強度鉄筋				9. 鉄筋の試験及び検査 鉄筋の試験及び検査: 1. 鉄筋の試験項目は、引張試験、圧縮試験、曲げ試験、引張断面積試験、圧縮断面積試験、曲げ断面積試験、引張断面積試験、圧縮断面積試験、曲げ断面積試験。2. 鉄筋の試験方法は、JIS S 5011 (引張試験)、JIS S 5012 (圧縮試験)、JIS S 5013 (曲げ試験)、JIS S 5014 (引張断面積試験)、JIS S 5015 (圧縮断面積試験)、JIS S 5016 (曲げ断面積試験)。				10. 鉄筋の試験及び検査 鉄筋の試験及び検査: 1. 鉄筋の試験項目は、引張試験、圧縮試験、曲げ試験、引張断面積試験、圧縮断面積試験、曲げ断面積試験、引張断面積試験、圧縮断面積試験、曲げ断面積試験。2. 鉄筋の試験方法は、JIS S 5011 (引張試験)、JIS S 5012 (圧縮試験)、JIS S 5013 (曲げ試験)、JIS S 5014 (引張断面積試験)、JIS S 5015 (圧縮断面積試験)、JIS S 5016 (曲げ断面積試験)。				11. 溶接 溶接の種類: 普通溶接 溶接の種類: 高強度溶接							

4. 梁

4-1 2段梁のあり及びスペーサー

4-2 片持梁の定置長さ及び余長

4-3 ハンチ梁の補強

4-4 小梁の定置長さ及び余長

4-5 スラブ勾配による配筋補強

5. スラブ

5-1 スラブリの定置長さ及び余長

5-2 片持スラブリの定置長さ及び余長

5-3 片持スラブリの補強

5-4 ハンチスラブリの補強

5-5 スラブリ開口部の補強

5-6 スラブリ開口部の補強

5-7 スラブリ開口部の補強

5-8 スラブリ開口部の補強

5-9 スラブリ開口部の補強

5-10 スラブリ開口部の補強

7. その他

7-1 柱・梁増打補強

7-2 柱・梁増打補強

7-3 柱・梁増打補強

7-4 柱・梁増打補強

7-5 柱・梁増打補強

7-6 柱・梁増打補強

7-7 柱・梁増打補強

工 事 名 鎌倉市立戸手小学校増築工事

規 準 図

68

S-3

基礎地盤改良仕様書

§ 1. 概要

- 1-1 工事名称 ((株) 鈴ヶ沢 舞戸小学校 給食室 増築工事)
- 1-2 建設地 (鈴ヶ沢 町 舞戸)
- 1-3 ボーリング試験 無 (3) ヶ所 深度 (36.0) m 調査
- 1-4 土質試験 土質名 () ヶ所

試験内容

物理試験 比重 含水量 粒度 密度
力学試験 一軸 三軸 圧密
孔内水平載荷試験
現場透水試験

- 1-5 設計用支持地盤耐力 土質名 () ヶ所 10.0 t/m²
土質名 () ヶ所
- 1-6 改良地盤名 土質名 () ヶ所 2
土質名 () ヶ所 0-2

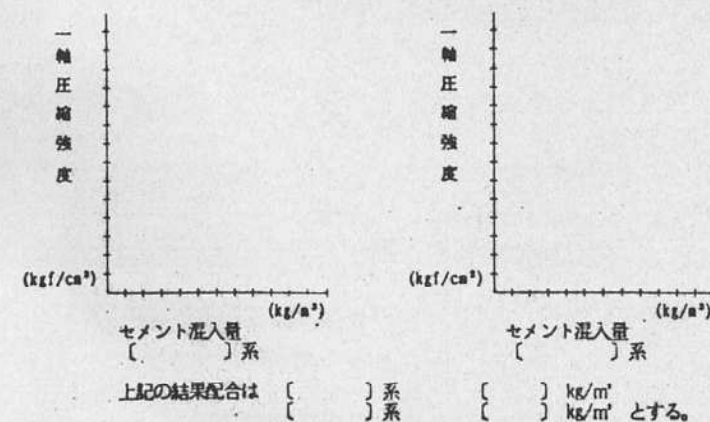
§ 2. 材料調査

2-1 試験土の採取

- a) 採取本数 (3) 系 (1) ヶ所 合計 (2) ヶ所
- b) 採取土の物理的、化学的性質を把握するために下記の試験を行う。
含水比試験 PH試験
密度試験 (湿潤・乾燥) 土粒子の比重
有機物含有量試験 一軸圧縮試験
土の粒子試験

2-2 室内配合試験

- a) 試験は採取ヶ所につき毎3本整型する。
b) 整型する試験体は (3) 系 (50) (75) (100) kg/m³
(3) 系 (50) (90) (120) kg/m³
のセメント系固化材を配合したものとする。
c) 整型方法は、75 M/m³を通し各々上記の配合したものをミキサーで混合し直径5cm
高さ10cmの筒につめる。この際4層に区分し、1.5kg ランマーで転圧する。1層目は10回
2層、3層目は20回ずつ4層目は40回突き固める。
d) 試験体の養生は温度20±3℃、湿度95%以上の恒温恒湿養生とする。日数は7日とする。
e) 試験体の一軸圧縮試験はJISA1216及びセメント協会「標準試験方法」に準拠する。
f) 一軸圧縮強度は各々の平均値を採用する。
g) 一軸圧縮強度試験結果を下記グラフにプロットして配合量を決定する。
h) 配合基準一軸圧縮強度は安全率Fs=3とする。



§ 3. 施工方法

3-1 施工手順

- a) 地盤改良土は下記フローチャートに示す手順に従って実施する。
b) 地盤改良に必要な土留・排水は着工後に行う。
c) 材料混合は散布機またはスタビライザー又は、バックホウを使用して材料と軟弱土の混合を行う。
バックホウ使用の場合は、1日につき400～500m³、スタビライザー使用の場合は800～1000m³を基準とする。
d) 転圧はタイヤローラーにて混合したその日のうちに改良範囲を万遍なく行う。
転圧層厚は1日50cm以下を基準とする。



設計指定量区画割
X X に対して 1.0' のフレコン又は
粉体を使用する。

重機にてセメント系固化材を散布

人力 (レーキ等使用) により数均し

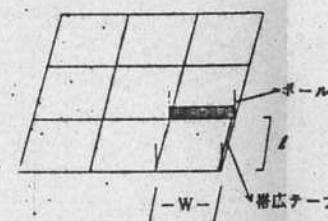
スタビライザー、一部狭い場所はバックホウにて混合

ブルドーザーにて整正

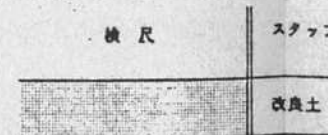
タイヤローラーにて転圧

3-2 施工管理

- a) 下図により区割検尺を行い写真にて管理を行う。



- b) 材料検収は材料の搬入納品伝票にて検収を行う。
c) 混合厚検収は下図により行う。又、混合機種の残尺管理とする。



- d) 写真管理は下表の要領で行う。

項目	頻度
使用機種	1回
施工状況	毎日 1回
区割検尺	1000 m ² /1回
混合厚検尺	1000 m ² /1回

3-3 施工機材

使用する機材は下表に示す。

名称	規格	使用目的
スタビライザー		混合
バックホウ	0.7 m ³	混合・散布
ブルドーザー	D20P	整正
タイヤローラー	10t	転圧

§ 4. 品質管理

4-1 一軸圧縮試験

- a) 現地に固化材混合転圧された試験土を1週間後にコア採取し、直径5cm、高さ10cmに整形し一軸圧縮試験を行う。
b) 試験箇所は500m²毎に1ヶ所とし、1ヶ所につき3本の試験体の試験を行う。
c) 一軸圧縮試験は () kgf/cm²以上とする。

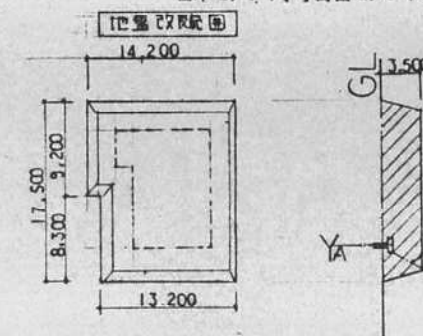
4-2 載荷試験

- a) 1000m²毎に施工7日後に載荷試験を行う。
b) 載荷試験は () ヶ所とする。

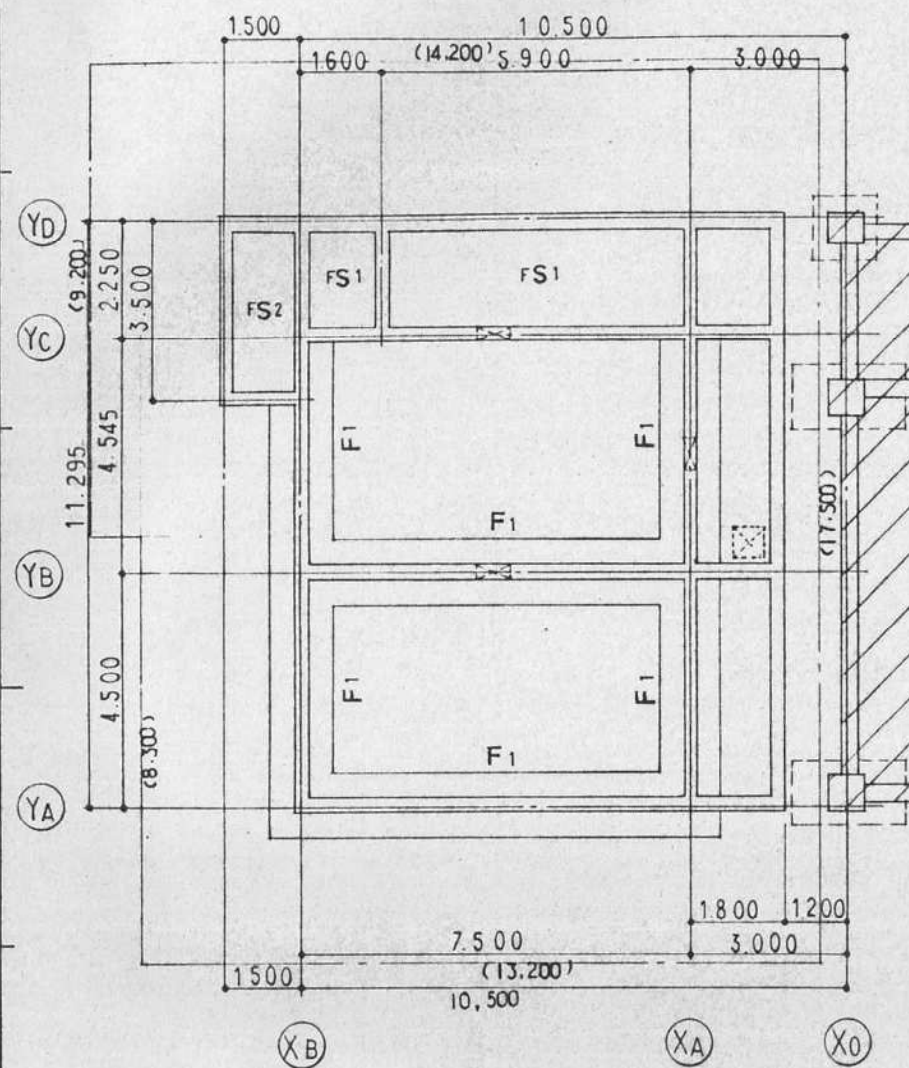
4-3 材料の品質

セメント系固化材は下記の4社のうちの製品を使用する。

日本セメント、小野田セメント、三菱スタビライト、住友セメント



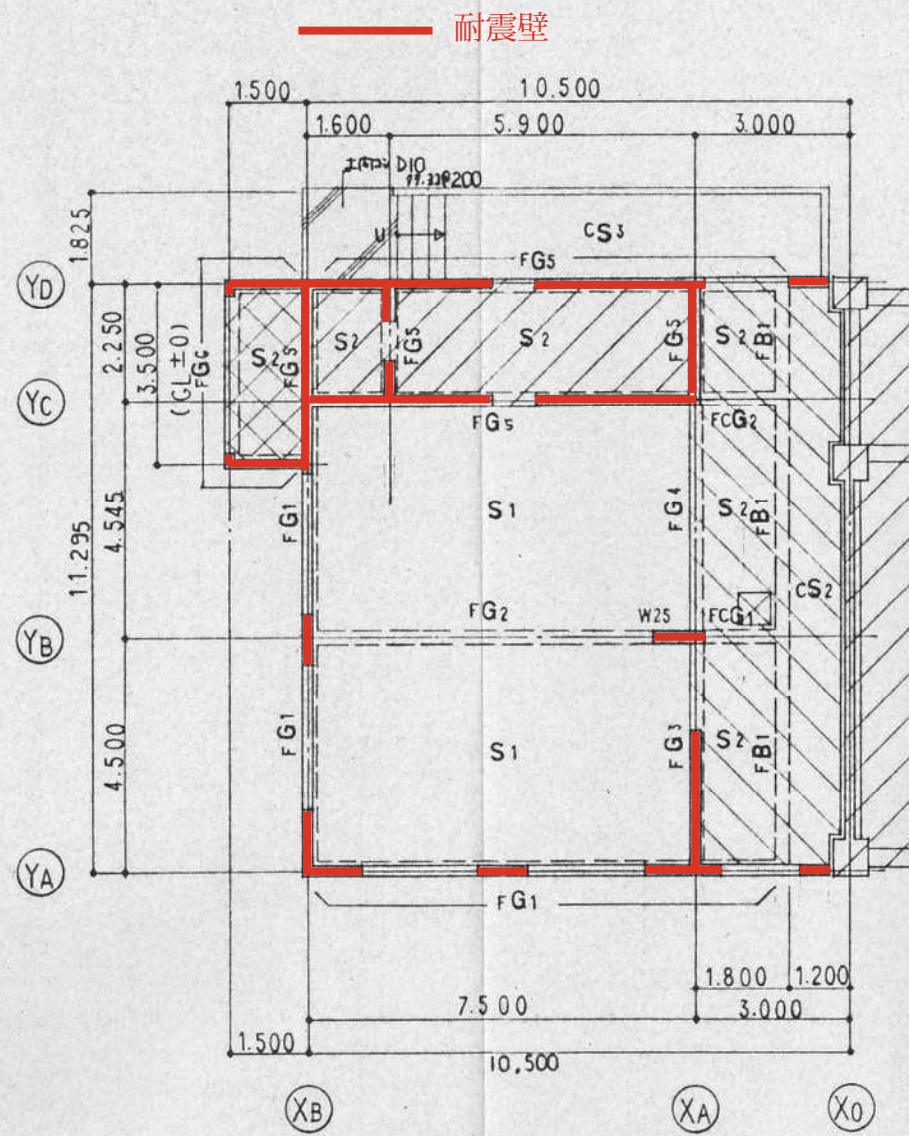
工事名	鈴ヶ沢町立舞戸小学校給食室増築	工事	6. 8.	図面番号
図面名	基礎地盤改良仕様書	縮尺		S-4
株式会社	桂設計			



基礎伏図 1:100

特記なき限り下記による

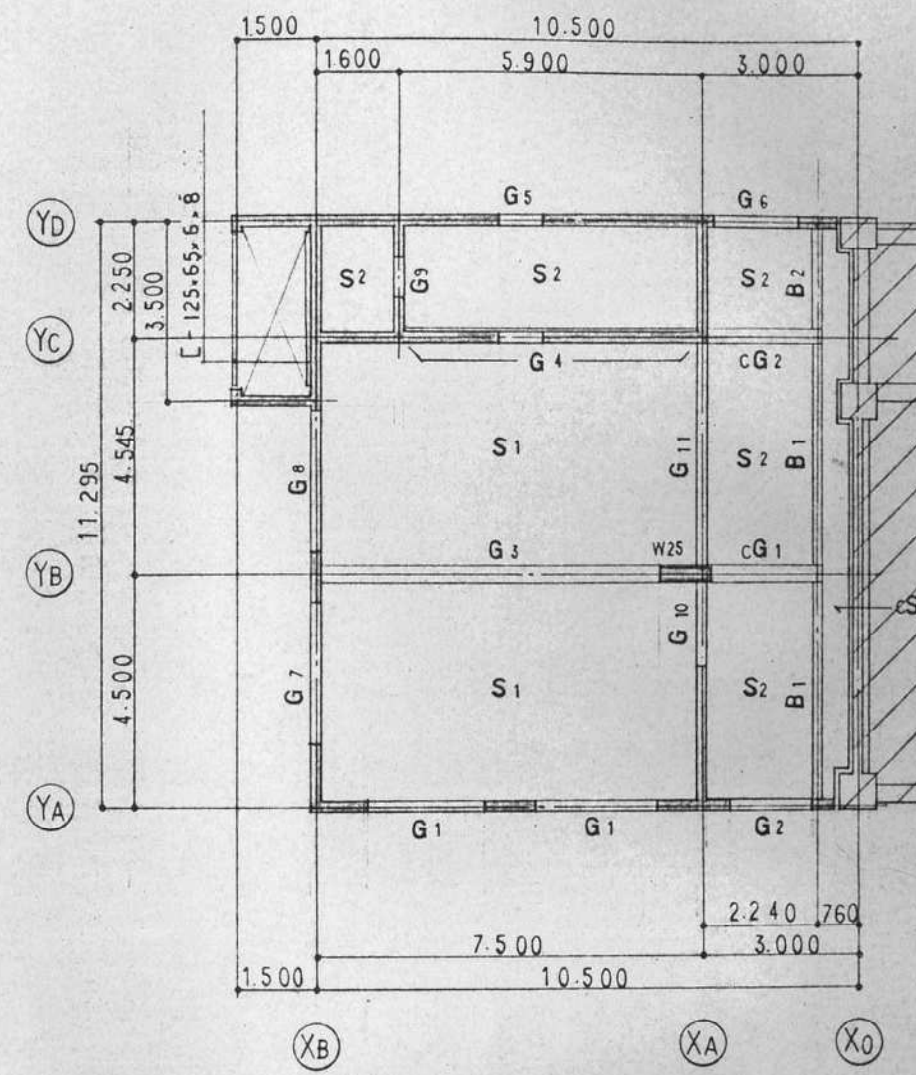
1. 基礎下端 — GL-1,000
2. 土留改良範囲 — GL-3,500以下
3. 人通孔 600x500



1階梁伏図 1:100

特記なき限り下記による

1. 壁厚 W18トスル
2. スラブ天端 — 1FL-300
3. 1FL-30
4. 1FL-180
5. 1FL-850
6. 地中梁天端 — GL+520



2階梁伏図 1:100

特記なき限り下記による

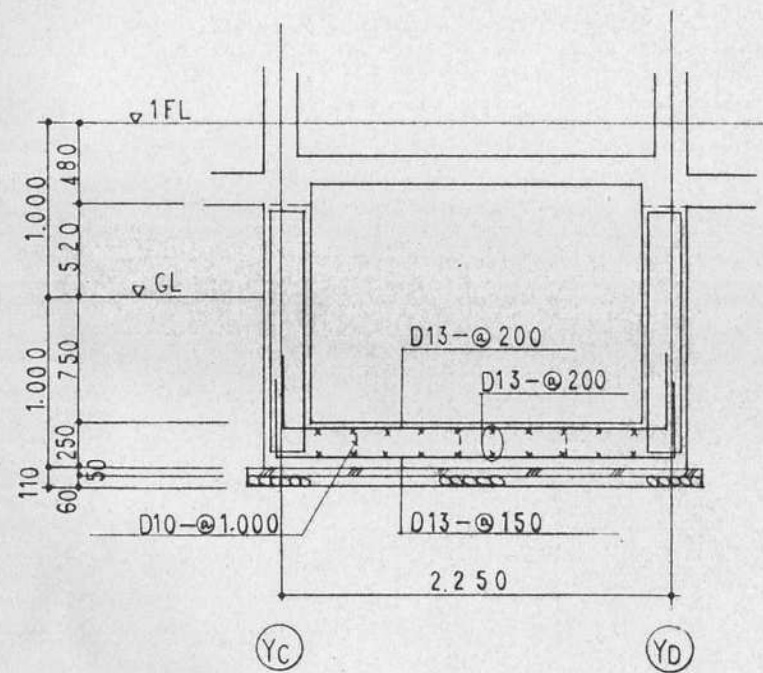
1. 壁厚 W18トスル
2. スラブ天端 — RFL±0~-100



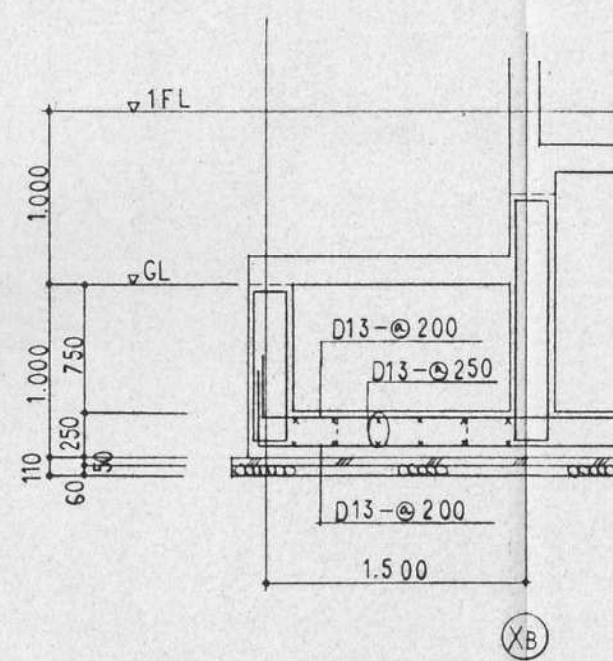
地中梁リスト 1:30

特記なき限り下記による 1) スターラップ D10-@200 2) 巾止筋 D10-@1000

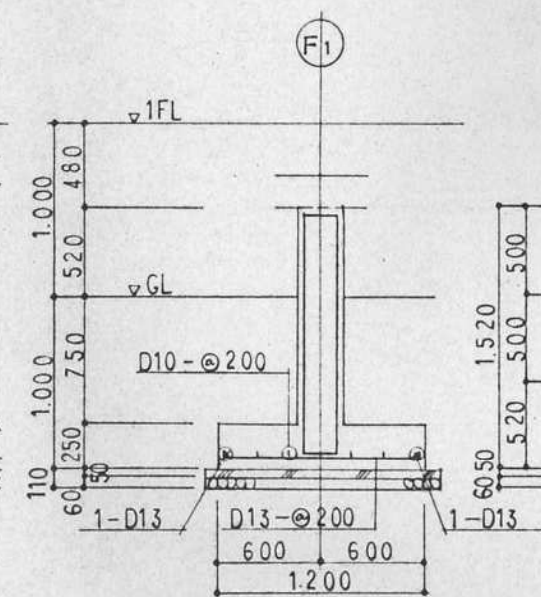
符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6	FCG1.2	FB1	附加し補強図
位置	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	全断面	全断面
断面									
B x D	250 x 1520	250 x 1520	250 x 1520	250 x 1520	250 x 1520	250 x 1000	250 x 1520	250 x 1000	
上端筋	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	2-D19	2-D16	3-D19	2-D19	
下端筋	2-D19	3-D19	3-D19	3-D19	2-D19	2-D16	3-D19	2-D19	
スターラップ									
腹筋	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	4-D10	6-D10	4-D10	



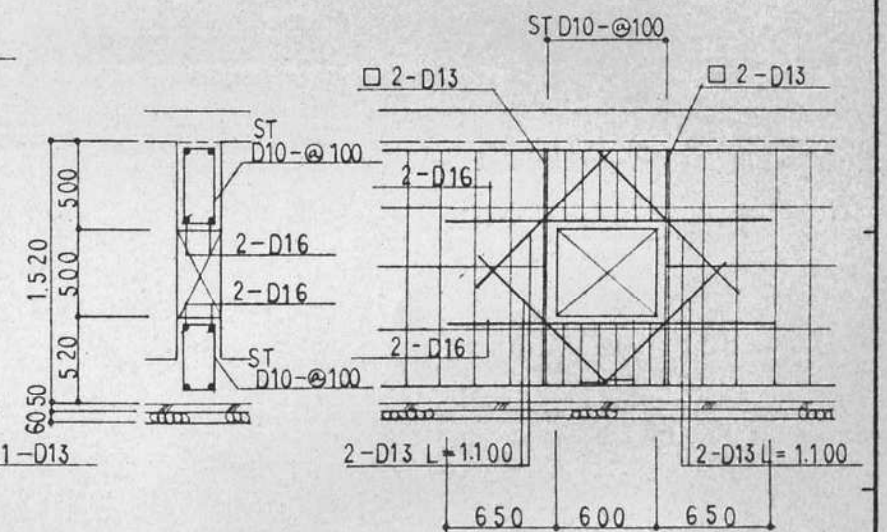
FS1 耐圧版リスト 1:30



FS2 耐圧版リスト 1:30



F1 基礎リスト 1:30



人通孔配筋詳細図 1:30



工事名	鎌ヶ沢町立舞戸小学校厨房増築	工事	6.8	図面番号	S-6
図面名	地中梁リスト・耐圧版リスト	縮尺	1:30		
株式会社	桂設計				

大梁リスト 1:30

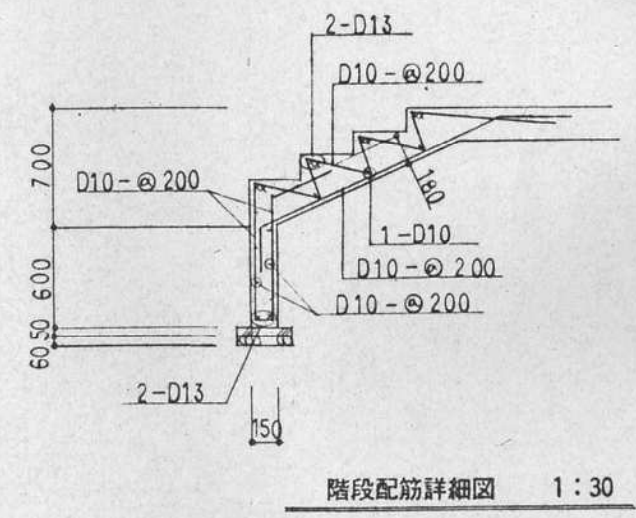
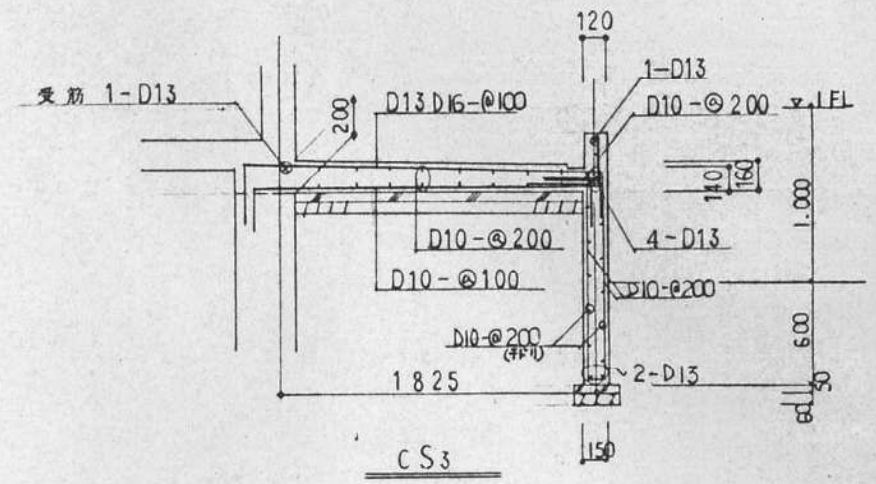
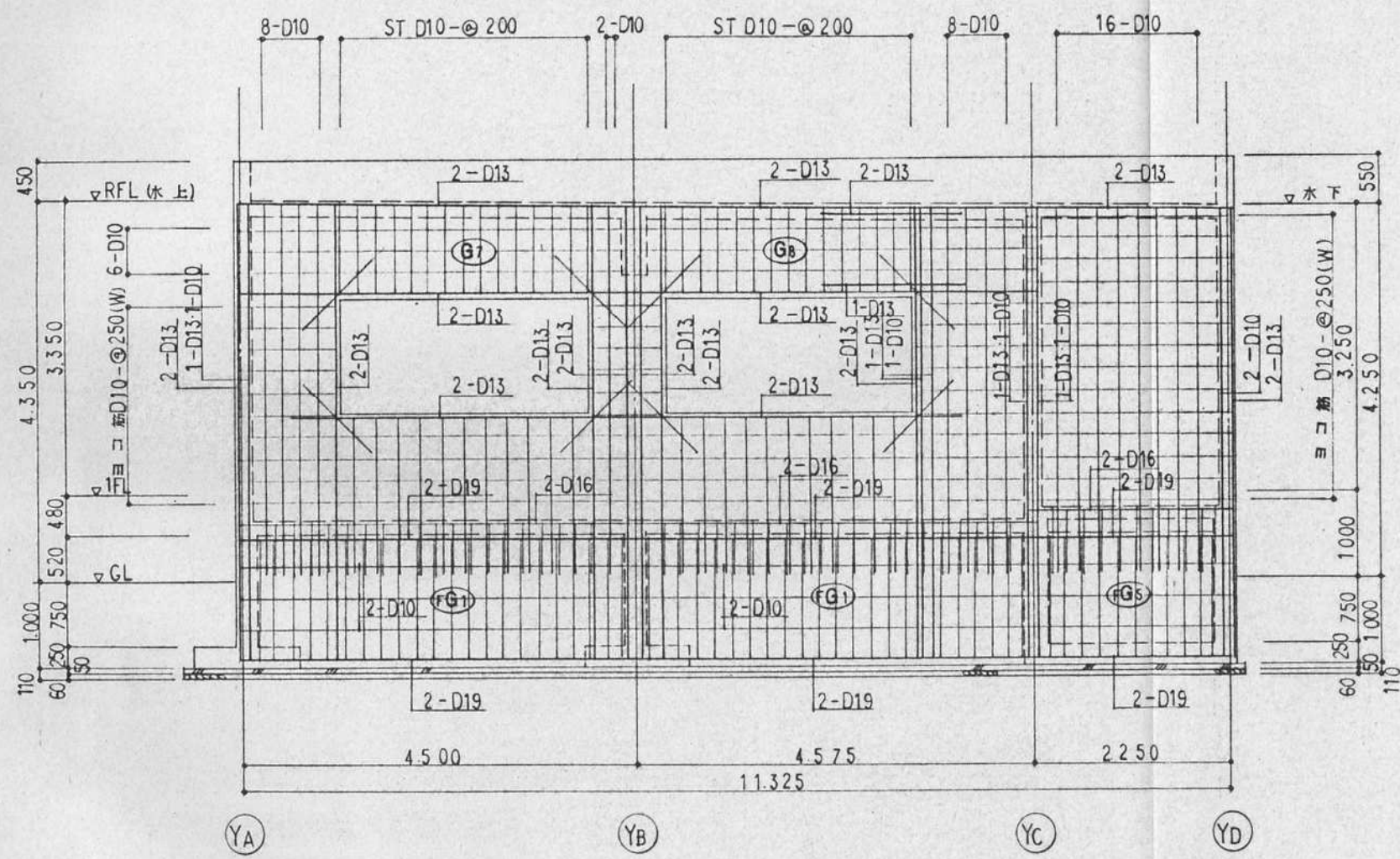
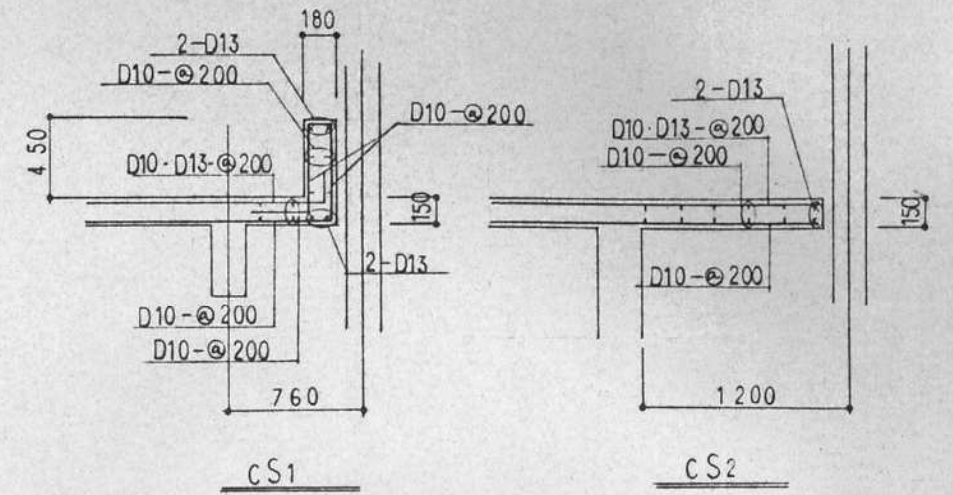
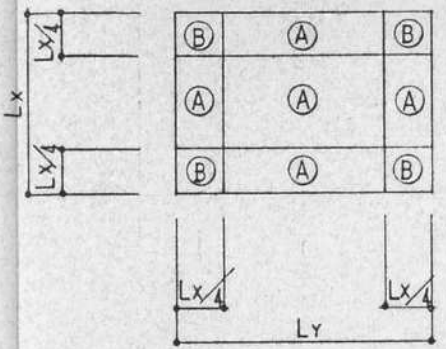
特記なき限り下記による

1) スターラップ D10-@200 2) 巾止筋 D10-@1000

符 号	G 1-7-9	G 2	G 3			G 4	G 5, 6	G 8			G 10	G 11		
位 置	全断面	全断面	XB 端	中 央	XA 端	全断面	全断面	YB 端	中 央	YC 端	全断面	YB 端	中 央	YC 端
R 階														
B × D	180 × 1100	180 × 1300	300 × 800			250 × 800	180 × 850	180 × 1100			180 × 800	180 × 800		
上 端 筋	2-D13	2-D13	3-D22	3-D22	6-D22	2-D19	2-D13	2-D13	2-D13	4-D13	3-D16	3-D16	2-D16	4-D16
下 端 筋	2-D13	2-D13	3-D22	4-D22	4-D22	2-D19	2-D13	2-D13	2-D13	3-D13	2-D16	2-D16	4-D16	2-D16
スターラップ			D10-@150											
腹 筋	6-D10	8-D10	2-D10			2-D10	4-D10	6-D10			4-D10	4-D10		
符 号	CG1		CG2					B1			B2			
位 置	基 端	先 端	基 端	先 端				YA, YC 端	中 央	YB 端	全断面			
R 階														
B × D	300 × 800		250 × 800					180 × 550			180 × 550			
上 端 筋	6-D22	3-D22	5-D19	3-D19				2-D16	2-D16	4-D16	2-D16			
下 端 筋	4-D22	3-D22	3-D19	3-D19				2-D16	2-D16	2-D16	2-D16			
スターラップ	D10-@150													
腹 筋	2-D10		2-D10					2-D10			2-D10			

床版リスト

符号	版厚	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			(A)	(B)	(A)	(B)	
S1	180	上端筋	D13-@100		D13-@150		モチアミ
		下端筋	D13-@200		D10-D13-@150		
S2	150	上端筋	D10-D13-@200		D10-@250		↓
		下端筋	D10-@200		D10-@250		



XB 通架橋配筋詳細図 1:50 1. 斜め筋 2-D13 L=1.100

階段配筋詳細図 1:30

工事名	錦ヶ沢町立舞戸小学校厨房増築		工事	6.8	図面番号
図面名	XB 通架橋配筋詳細図 床版リスト 1:50 1:30		縮尺		S-9
株式会社	桂 設計		一般建築士登録第141814号 藤井英明		